

報告第 2 5 号

令和 7 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに
決算の報告について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 7 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに決算について、別紙のとおり報告する。

令和 8 年 9 月 1 5 日提出

宇治市長 松 村 淳 子



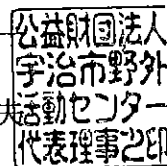
8公財宇野活第76号

令和8年6月30日

宇治市長 松村 淳子 様

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫



令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告および決算報告について

令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告および決算報告について、別紙のとおり承認されましたので報告します。

報告第1号

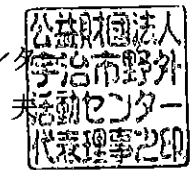
令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について

令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について、別紙のとおり
報告する。

令和8年6月21日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚



令和 7 年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

事 業 報 告 書

令和7年度 公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告書

I. 年度総括

当法人は令和4年度からの5年間、指定管理者として宇治市総合野外活動センター運営を受託している。

お客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

- 豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。
- 自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。
- 地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より導入された利用料金制度を自立した経営力を発揮するチャンスにとらえ、お客様のニーズに合わせたオンライン予約の導入やオートキャンプエリアの拡張、予約不要工作イベントの追加開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や利用申請手続きの見直し等、必要経費の削減にも努めてきた。

また、学生団体や民間事業者との連携事業、さらには外部補助金を活用したイベントの開催など、新たな試みにも積極的に取り組み、利用者層の拡大と施設の認知度向上に努めた。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売等、必要に応じて協議の場を設けた。

その結果、年間総利用者数は96,163人となり、前年度実績をわずかに下回ったものの概ね前年並みを維持した。また、利用料金収入は約3,483万円となり、前年度比約15万円の増収となった。

一方で令和7年度においても社会情勢の影響により電気料金が予算額より大幅に値上がりしており、当初予算比で約290万円の支出増となった。光熱費の高騰や最低賃金上昇による人件費の負担増が収支に大きな影響を与えることになったため、宇治市とのリスク分担協議の結果、指定管理料を約480万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

今後も利用者ニーズを的確に捉えた事業展開と効率的な施設運営に努め、さらなる利用促進と収益力向上を図っていく。

Ⅱ. 事業内容

1. 指定管理業務

宇治市より「宇治市総合野外活動センター アクトパル宇治」の指定管理業務を受託した。

(1) 施設利用【宇治市総合野外活動センター管理運営事業・活動支援事業】

【宇治市総合野外活動センター管理運営事業】

お客様に安全・安心、快適に施設を利用していただけるよう維持管理を行い、施設を良好に管理する。あわせて、施設使用の予約受付から申請許可、使用料の徴収等、施設運営に係る業務を行った。

教育活動、レクリエーション活動の場として学校・団体利用の促進を図るとともに、お客様満足度の向上や地域貢献につながる事業を展開した。

年間総利用者数は 96,163 人となり、前年度実績をわずかに下回ったものの概ね前年並みを維持した。また、利用料金収入は 34,834,120 円となり、前年度比 148,510 円増収となった。

利用者数（目標値）

《宿 泊》	29,963 人 (33,000 人)
《日帰り》	66,200 人 (74,000 人)
《合 計》	96,163 人 (107,000 人)

使用料収入（目標値）

34,834,120 円 (38,000,000 円)

また電気料金が社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約 290 万円の増額となった。

光熱費（電気料金）の高騰及び最低賃金の上昇に伴う人件費影響分について、宇治市とのリスク分担規程に基づき令和 7 年度は指定管理料を約 480 万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

(令和 7 年度の主な取り組み)

○学校・団体利用の促進

- ・小学校の宿泊利用を促進するため、宿泊学習プランを作成し関係校へ送付するなど、積極的な広報活動を実施した。
- ・「スポーツ合宿プラン」及び「研修プラン」のチラシを作成し、近隣の高校・大学・スポーツ団体・企業等に対して案内・配布を行い、新規団体の利用促進に努めた。
- ・ボーイスカウト団体向けに「自然体験」パンフレットを配布し、利用機会の拡大を図った。
- ・団体の利用ニーズに柔軟に対応するため、要望に応じて休所日の臨時営業を実施するなど、

利用促進とサービス向上に取り組んだ。

団体利用数実績（目標値）

林間学習利用実績 37 校（55 校）

企業研修利用実績 12 件（11 件）

スポーツ合宿利用実績約 82 件（75 件）

○グラウンド・ゴルフ利用の促進

- ・愛好家をはじめ、幅広い層にご利用いただけるよう令和 4 年度から始めた回数券販売を継続し、利用促進につなげた。
- ・食事とセットにしたグラウンド・ゴルフ割引プランを販売した。（GG+鍋焼きうどんセット）
- ・芝生の生育状況に合わせ、適宜芝刈り、施肥、雑草駆除等のメンテナンスを実施した。

○会議システムの整備

- ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようリモート会議の設備を整えた。

○Web 予約システムの導入

- ・外部サイト「なっぷ」を利用し、日帰り炊事棟利用のオンライン予約を開始した。

○お客様意見・クレームへの対応

- ・施設ご利用のお客様にアンケートやインタビューを実施し、ご要望や不満な点をくみあげ改善につなげた。
- ・イベント参加者には Web アンケートを導入し、回答と集計の効率化を図った。

○トイレ設備の改善

- ・将来的なトイレ改修に向け、現状の調査を実施し課題を把握するとともに、改修方針について協議を進めた。
- ・トイレ芳香剤自動噴霧器を設置した。

○キャッシュレス決済の活用

- ・現金以外の支払い方法に対応するため、令和 4 年度からクレジットカード、電子マネー等が利用可能なキャッシュレス決済を導入している。令和 7 年度も継続しており、キャッシュレス決済利用率は約 30%となっている。

○予約手続きの簡便化

- ・宇治市とも協議の上、施設の予約申請手続きの一部を簡便化し、お客様の手続き負担を軽減するとともに郵送費、事務作業の縮減を図った。

○施設修繕の取り組み

- ・アスレチックや常設テントの劣化部分の修繕をはじめ、安全に施設をご利用いただけるよう適宜点検・修繕を実施した。
- ・大規模修繕については宇治市と協議、調整の上、管理棟・体育館の天井耐震改修工事の設計、及び施設内電話設備の更新を実施いただいた。

○有限会社笠取ファームとの協力体制

- ・植栽管理及び清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。
- ・日常的な課題や業務改善に向けた取り組みについて、毎月定例会議を実施した。
- ・農業体験、ふるさと体験、各種イベント開催にあたって連携し、お客様と地域住民との交流の場を提供した。

○宇治市との連携

- ・宇治市教育委員会の担当部署である生涯学習課と月1回の定例会議を開き、施設の最新状況や修繕計画等について協議し、連携を密にした。
- ・宇治市のふるさと納税返礼品として各種宿泊券を提供した。
- ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として管理棟ホール図書コーナーを子ども読書コーナー「えほんの森」スペースとして整備しており、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。
- ・イベントにあわせて JR 宇治駅～アクトパル間で市の公用バスを運行し、利用者の利便性向上に努めた。
- ・宇治市の「二十歳の集い」参加者にアクトパルの炊事棟利用クーポンを配布した。

○広報・PR 活動

- ・ホームページで施設予約状況、イベント情報等、最新の情報発信を行った。
- ・メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。(令和8年3月現在登録者数約3,500人)
- ・令和4年度より SNS (Instagram、X、Facebook) を毎日更新しており、フォロワー数も伸びている。(令和8年3月末現在 Instagram 1,958 人、 X 1,295 人、 Facebook 648 人)
- ・キャンプ場案内サイトへの施設情報を掲載した。(デジキュー、なっぶ)
- ・地域情報発信 web サイトへ情報提供した。(ALCO、号外ネット、京都 Living、きょうとくらす)
- ・TV 媒体の取材に協力し、施設を紹介いただいた。(KCN 京都)
- ・アニメ「響け！ユーフォニアム」の聖地巡礼でお越しになるファン向けに施設見学マップの配布や案内を行った。
- ・令和5年度よりアルペンアウトドアーズ宇治店と相互集客の提携を結び、アルペン店頭で利用案内、合宿利用プラン等のチラシを配架した。

【活動支援事業】

お客様が施設を利用されるにあたり円滑に活動できるよう、天体観察プログラムを案内する天文ボランティアの調整や、創作活動の補助、農業体験の実施調整等の支援を行った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

(目標額) 収入 300 万円 支出 140 万円 収支差額 160 万円※天体ボランティア費用除く。

(実績) 収入約 265 万円 支出約 118 万円 収支差額約 147 万円

活動支援事業例

◇天体観察での天文プログラムの実施

◇陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言

- ・利用状況を踏まえプログラムを見直し、新規メニューを追加した。
- ・仕入れ価格の高騰に伴い、一部プログラム料金を改定した。

◇「工作棟オープンデー」

- ・工作プログラムの利用促進をはかるため、予約不要で各種クラフト体験ができるイベントとして実施した。工作棟の空きがある日にも追加で開催した。

◇「つくってあそぼう！」

- ・管理棟ホールで簡単にできる工作プログラムを提供した。

◇農業体験やふるさと体験の提供

◇林間学校・スポーツ合宿等でのプログラム相談



(2) 利用促進イベント【野外活動奨励事業】

市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催した。

	人数	収入	支出	収支差額
令和7年度目標値	10,000 人	0 円	28 万円	－28 万円
令和7年度実績	7,356 人	0 円	約 24 万円	－約 24 万円

事業一覧

春のグラウンド・ゴルフデー、春まつり、親子で楽しむグラウンド・ゴルフの日（春・秋）、アクトパルであそぼう！、山であそぼう！、秋まつり、ハロウィンをたのしもう！、

わいわいホリデー（夏・冬）、体育館であそぼう、笠取交湯会、新春笠取り市、星空オープンデー



（３）収益イベント【活動体験事業】

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを年間を通して企画・実施し、生涯学習の推進を図った。

親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施した。（各イベント詳細は別紙資料１参照）

	人数	収入	支出	収支差額
令和７年度目標値	4,000 人	490 万円	330 万円	160 万円
令和７年度実績	2,963 人	約 358 万円	約 238 万円	約 120 万円

① 自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベント。

事業例

春の野草探しと天ぷらづくり、アクトパルで米作り（連続企画：田植えから収穫まで）、宇治茶を知ろう、じゃがいも畑のくいしん坊、生き物調査隊、クイズラリー、虫ムシ大作戦、いもほり＆クッキング、ピニャータ割り、ふるさとを味わおう、野菜をつくろう！（連続企画：玉ねぎとじゃがいも～植え付けから収穫まで～）、秋のピクニック、ミニ門松・鏡餅づくり＆もちつき、原木しいたけ物語、ふるさとハイキング、天文教室、グラウンド・ゴルフ大会、エッグハント、炊事棟オープンデー



② アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟

やキャンプ道具をご利用いただきスキルアップできるイベント。

事業例

バウムクーヘンをつくろう！、アウトドアクッキング（ピザ作り）、
燻製をたのしもう！、ダッチオーブンでケーキをつくろう！、BBQをたのしもう！、
アウトドアクラブ（年5回連続企画）



③ 手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりとアクトパルならではの手作り体験ができるイベント。

事業例

陶芸教室入門編、流しそうめんセットをつくろう！、夏休み親子工作デー、
アクトパルそば道場、クリスマスリースをつくろう！、陶芸教室ろくろ編、
親子で楽しむ木工教室、アクトパルうどん道場、陶芸クラブ（年間登録制）



2. その他自主事業 財団自主事業（収益事業・公益事業）

施設外でのイベント開催や外部事業者との提携を図るなど、設置施設の枠組みにとらわれない柔軟な事業展開を行った。

食堂及び売店運営業務を有限会社笠取ファームに委託し、地域の特徴を生かした食事提供や物品販売を行った。

お客様のニーズにこたえ利便性を高めるため、新たな利用プランや貸出物品を追加した。

収益事業

（目標額） 収入 160 万円 支出 25 万円 収支差額 135 万円

（実績※） 収入約 169 万円 支出約 59 万円 収支差額約 110 万円

※体験事業からその他自主事業に振り替えたオータムキッズキャンプ分を含む。

- ・ 食堂売店運営を笠取ファームに委託

食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。

売店やイベントで野菜や特産物の販売を実施した。

鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。

・出張教室の実施

木幡公民館、宇治市植物公園でのイベントに出店し、工作プログラムを提供した。

- ・アクトパル宇治で結婚披露宴の実施を希望された利用者に対し、施設特性を生かした特別な利用プランの提案及び運営支援を行い、利用者ニーズに柔軟に対応したサービス提供に努めた。
- ・お客様の利便性を高めるため、キャンプグッズの有料貸出を追加した。
- ・利用の少なかった三角広場、北の広場をオートキャンプ場として活用し、オートキャンププランを販売した。利用されたお客様にもご意見を伺い、宿泊区画を4区画から6区画に拡張した。
- ・常設テントの利用促進を図るため、特別プラン「森と星キャンプ」を提供した。展望デッキでのBBQや電源の設置、春夏と秋冬で設備を入れ替え年間通して快適なキャンプ空間を提供した。
- ・イベントや休日にキッチンカー出店機会を拡大し、食事提供のバリエーションを拡大した。
- ・公衆浴場営業許可を取得し、大浴場の日帰り入浴サービスを提供した。
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」を活用し、小学生を対象としたキャンプイベント「オータムキッズキャンプ」を開催し、自然体験活動の機会提供と青少年の健全育成に寄与した。



公益事業

収益を求めず、公益に資する事業として事業を実施した。

- ・宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議「eco ット宇治」と共同で森林保全活動「どんぐりプロジェクト」に取り組み、里山保全活動をPRした。
- ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携して図書配本サービスを提供することで、地域サービス向上に貢献した。
- ・立命館大学の学生団体「Clown」の活動に協賛し、施設内にツリーハウスを設置するとともに、9月13日には完成お披露目イベントを開催し、新たな魅力創出と施設の活性化に取り組んだ。



野外活動奨励事業・野外活動体験事業 事業一覧

(活動奨励事業)

野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催した。

総合計 7,356 人

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
4 月 4 日 (金)	春のグラウンド・ゴルフデー	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、コミュニケーションを図る場を創出するとともに、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 91 人》	
4 月 6 日 (日)	春まつり	桜が見ごろの時期に地元特産品の販売や市民グループ・障がい者施設の出店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげた。 《参加者 1,202 人》	
①4 月 26 日 (土) ②9 月 15 日 (月・祝)	親子で楽しむ グラウンド・ゴルフの日	親子か祖父母&孫など大人と子どもと一緒に気軽にプレーできるよう料金を割引し、交流を図る場を創出するとともに、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者①42 人②37 人》	
6 月 8 日 (日)	アクトパルであそぼう!	新緑の時期に丸太切り体験、じゃがいも掘りなど自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出した。 《参加者 731 人》	
7 月 26 日 (土) ~ 8 月 24 日 (日) の (期間中の土・日・祝)	夏のわいわいホリデー (11 回開催)	夏休み期間の土日祝開催。涼しい屋内で無料の紙工作等ミニイベント実施とともに施設の案内を提供し、利用促進につなげた。 《参加者延べ 846 人》	
8 月 11 日 (月・祝)	山であそぼう!	山の日にちなみ野鳥の観察、生物調査、標本づくり、工作などを実施し、山の自然を身近に感じてもらう機会にした。 《参加者 109 人》	
10 月 13 日 (月・祝)	秋まつり	(有) 笠取ファーム、笠取小学校と共催し、地元特産品の販売や市民グループ・障がい者施設の出店、地域の活動紹介を行うことで、地域振興・交流の場を創出した。 《参加者 2,173 人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
10 月 26 日 (日)	ハロウィンをたのしもう！	ハロウィンの時期に合わせて、仮装ショーなどを通じて風習や手作りの楽しさを伝えた。 《参加者 212 人》	
12 月～ 令和 8 年 2 月 (毎週日曜・祝日と 1 月 10 日(土))	わいわいホリデー (14 回開催)(新春笠取市を含む。)	ゆったり過ごしてもらえる室内で、季節にちなんだ楽しい企画を盛り込み、利用促進の広報活動と冬場での楽しさを提供した。 また、1 月に実施した新春笠取市では、笠取地元産野菜の販売を始め、炭山文化の会の獅子舞演舞、豚汁・つきたて餅の販売などで、新春の笠取の魅力を発信した。 《参加延べ 579 人》	 
①12 月 7 日 (日) 令和 8 年 ②1 月 11 日 (日) ③2 月 15 日 (日)	体育館であそぼう (3 回開催)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供した。また、アクトパルの体育館を知ってもらう機会とした。 《参加者①55 人②148 人③150 人》	 
1 月～2 月 (毎週土曜日・1 月 11 日 (日)・2 月 22 日 (日))	笠取交湯会 (10 回開催)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深めた。 《参加者 160 人》	
①4 月 19 日 (土) ②6 月 7 日 (土) ③6 月 14 日 (土) ④8 月 2 日 (土) ⑤11 月 22 日 (土) 令和 8 年 ⑥1 月 24 日 (土) ⑦2 月 14 日 (土) ⑧3 月 3 日 (火)	星空オープンデー (8 回開催)	施設内の望遠鏡などの天体観察設備の特長を生かし、星空に関心を持ってもらえるプログラムを実施した。また、天文ボランティアの活動の場を創出した。 ③⑧は雨天中止。 《参加者①74 人②355 人③0 人④219 人 ⑤111 人⑥28 人⑦34 人⑧0 人》	

(活動体験事業)

丁寧なサポートと充実した有料イベントを年間約 50 イベント企画・実施し、生涯学習の推進を図った。親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施した。 総合計 2,963 人

①自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベントを実施した。

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
4 月 6 日 (日) ~ 令和 8 年 3 月末まで	季節のクイズラリー (奨励イベント内・ 日曜・祝日など)	各イベント内で開催。子どもたちが施設内を巡り、四季を体感するとともに、施設を知ってもらうきっかけとした。 《参加者 546 人》	
4 月 6 日 (日)	エッグハント	「春まつり」に合わせて開催。イースターにちなんだ宝探しを開催し、季節を感じてもらえるイベントとした。 《定員 60 人 参加者 60 人》	
4 月 13 日 (日)	春の野草探しと野草の天ぷらづくり	施設内での野草摘みを通じて、食用にできる植物を知り、摘んだ草花を材料に天ぷらにして食育の一助とする予定だったが、雨天のため中止した。 《定員 10 組 参加者 0 組》	 
①5 月 10 日 (土) ②5 月 11 日 (日)	宇治茶を知ろう！～ 摘んでもんで飲んで～ (2 回開催)	施設内の茶畑での茶摘みから製茶体験など通じて宇治の代表的な産品である茶のことをよく知ってもらう機会とした。 《定員各 6 組 参加者①6 組②6 組》	 
田植え ①5 月 17 日 (土) ②5 月 18 日 (日) 稲刈り ①9 月 13 日 (土) ②9 月 14 日 (日)	アクトパルで米作り (2 回開催)	笠取ファームの協力により、田んぼで田植えと稲刈りを体験した。自分で植えた稲が育つのを観察し、稲穂が垂れたタイミングで稲刈りをする事で、自然の恵みを体感し食べ物を大切にする心の醸成につなげた。 《定員各 10 組 参加者①3 組②7 組》	 
6 月 8 日 (日)	丸太切り大会	アクトパルであそぼうで実施した。地元の方に丸太を提供していただくことで、地域のつながりを深めながら、自然資源への理解や家族での協力・工夫の大切さを学んでもらう機会とした。 《定員 15 組 参加者 11 組》	 
①6 月 21 日 (土) ②6 月 22 日 (日)	じゃがいも畑のくいしん坊 (2 回開催)	笠取ファーム所有の畑でじゃがいも掘りを体験し、その場 (畑) で調理した掘りたてのもののおいしさを知ることによって農業体験の楽しさを知る機会とした。 《定員各 6 組 参加者①6 組②6 組》	 

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
7月26日(土) ～27日(日) (1泊2日)	虫ムシ大作戦	虫捕りや観察を通じて身近な自然に親しみ、豊かな生態系を守ることの大切さを学ぶ機会とした。 《定員6組 参加者6組》	 
8月11日(月・祝)	生き物調査隊	山であそぼう！に合わせて開催。川に入り、生き物と触れ合うことで、笠取の自然に親しむ機会とする予定だったが、雨天のため中止とした。 《定員30人 参加者0人》	 
10月13日(月・祝)	太陽観察	屋上での太陽観察やボランティアによる解説を通して、自然科学への関心を高めるとともに、理解を深める質の高い学習機会を提供した。 《定員なし 参加者22人》	
①10月18日(土) ②10月19日(日)	いもほり&クッキング (2回開催)	畑でさつまいも収穫した後、とれたてのさつまいもを使って炊事棟で簡単なお菓子類を作ることによってアウトドアでの料理を楽しみ、食育につなげた。①は参加者が集まらず中止となった。 《定員各6組 参加者①0組②7組》	 
10月26日(日)	ハロウィンゲーム大会 (2回実施) 缶バッジづくり ホールインワン大会	「ハロウィンをたのしもう！」に合わせて開催。ハロウィンの風習を学べるゲームや、 《定員各20人 参加者①23人②11人》 記念品の缶バッジづくり、 《定員なし 参加者16人》 ホールインワンのセットを設置し、グラウンド・ゴルフを気軽に体験できる機会を設けた。 《定員なし 参加者30人》	
【苗・種いも植え】 ①11月2日(日) ②令和8年3月1日(日) 【収穫体験】 ③5月6日(水・祝) ④6月14日(日)	シン・ポテオニ大作戦～玉ねぎの苗と種いもの植え付け&収穫～ (全4回)	地元農家の協力により、畑での植え付けと収穫の両方を体験した。自分で植えた苗が育ち、春を迎えて収穫、さらに調理することで食べ物を大切にする心の醸成につなげた。 《定員13組 参加者12組》	 
①11月15日(土) ②11月16日(日)	ふるさとを味わおう (2回開催)	ひき臼を使ったきなこづくり、杵と臼を使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔の道具の使い方や食べ物の文化に触れた。また、地元の畑でとれたての大根を味わうことで農業体験の楽しさを知る機会とした。 《定員各6組 参加者①6組②6組》	 
11月23日(日)	秋のピクニック	紅葉を楽しみながら施設周辺の里山を歩き、樹木の説明などで自然との接し方を学んだ。また、落ち葉焚きで笠取産の焼き芋を味わい、秋の笠取の魅力伝えた。《定員6組 参加者4組》	 

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
①12月20日(土) ②12月21日(日) (2回開催) 令和8年1月11日(日)	ミニ門松・鏡もちづくり&もちつき ミニとんど (当日参加有り)	家族で正月飾りを手作りし、年が明けてからとんどで燃やすまでの一連の流れを体験し、古くから伝わる新年の風習に親しむ機会を提供した。 《定員各6組 参加者①6組 ②6組 とんど37人》	
2月11日(水・祝)	原木椎茸物語	地元農家を講師に招き、しいたけの菌うちや、ほだ木の育て方を学ぶことを通して笠取の農業・特産品を知るきっかけとした。 《定員10組 参加者10組》	
2月23日(月・祝)	炊事棟オープンデー	普段は予約が必要な炊事棟を予約なしで利用でき、ホットドリンクや焼きマシュマロなど、暖かいものを提供し、利用促進の広報活動と、冬場の楽しみ方を提供した。《定員なし 参加者22人》	
3月14日(土)～15日(日)	ふるさとハイキング	笠取の旧跡を巡りながら里山を歩き、笠取の自然を体感するとともに、地元農家のしいたけ栽培の見学など笠取の農産品を知ってもらい地元との交流も図った。《定員6組 参加者6組》	
①4月12日(土) ②5月9日(金) ③6月7日(土) ④7月5日(土) ⑤9月20日(土) ⑥10月11日(土) ⑦11月8日(土) ⑧12月6日(土) 令和8年 ⑨1月17(土) ⑩2月14日(土) ⑪3月7日(土)	グラウンド・ゴルフ大会 (11回実施)	グラウンド・ゴルフを通じて、自然とのふれあいや人々の交流の場を提供した。 《定員①～⑪70人 参加者①61人②48人③69人④65人⑤66人 ⑥69人⑦0人⑧74人⑨78人⑩98人 ⑪99人》	
●3月21日(土)	チャンピオンシップ大会	1年の成果を確かめるために年間通算成績上位の方を対象にした大会を開催した。 《参加資格者70人 参加者60人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
①7月5日(土) ②9月6日(土) ③10月4日(土) ④12月13日(土) ～14日(日) (1泊2日)	天文教室 (4回開催) ①七夕の星&プラネ タリウム体験」 ②「天体望遠鏡制作」 ③中秋の名月&月見 団子づくり」 ④「星空キャンプ ふたご座流星群& 四季の星座物語」	天体観察だけではなく、テーマに合わせた話や 工作・実験などを交えて、奥深い天文の世界に 触れる機会とした。 《定員①～④30人 参加①12人②32人③24人④23人》	

②アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟やキャンプ道具をご利用いただき、スキルアップできるイベントを実施した。

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
5月24日(土)～ 5月25日(日) (1泊2日)	親子 de キャンプ	キャンプ経験のない家族が気軽に参加できて、 普段と違った環境の中での家族内のコミュニケー ションづくり、キャンプやアウトドアに親し む契機となることを目指したが、雨天のため中 止とした。 《定員6組 参加者0人》	 
①5月31日(土) ②6月1日(日)	バウムクーヘンをつく ろう！ (2回開催)	野外でのバウムクーヘン作りに挑戦することによ って、アウトドアの料理の奥深さに触れると ともに、家族で協力し作り上げることで、コミ ュニケーションを深める機会とした。 《定員各10組 参加者①9組 ②10組》	
主に8月の土日祝	①水鉄砲大会 (2回開催) ②スーパーボールすく い(7回開催)	夏のわいわいホリデーで開催。子どもたちに屋 外でのびのびと安全に遊ぶ機会を提供し、健全 育成と参加者同士の交流促進を図ることを目的 として実施した。《定員なし①92人 ②46人》	
①9月6日(土) ②9月7日(日)	アウトドアクッキング (2回開催)	生地づくりから教わる窯焼きピザづくりを体験 することを通じて、アウトドアでの料理を楽し ん、食育につなげた。 《定員各6組 参加者①5組②6組》	 
11月3日(月・祝)	燻製をたのしもう！	簡単な方法で、肉をはじめ意外な食材を燻製す ることによって、野外ならではのクッキングを 身近に感じてもらえる機会とした。また、燻製 の技法を知ることによって無駄のない食材の消費を考 える機会とした。《定員10組 参加者10組》	 

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
12 月 14 日（日）	ダッチオープンでケーキをつくろう！	クリスマスの時期に合わせて、野外炊事の道具を使つてのケーキづくりを行うことで、アウトドアでのクリスマスを楽しんでもらった。 《定員 6 組 参加者 6 組》	
令和 8 年 1 月 18 日（日）	冬のアウトドアクッキング	地元特産品の野菜を使った温かい料理を家族が協力して作って食べることで、家族の絆を深める場を提供するとともに、冬のアウトドアの楽しみ方を知るきっかけとした。 《定員 6 組 参加者 5 組》	 
3 月 22 日（日）	BBQ をたのしもう！	家族で野外 BBQ を楽しめるよう、野外炊飯の基本やコツなど実践を通じて習得する機会を提供した。 《定員 6 組 参加者 6 組》	
①4 月 20 日（日） ②7 月 13 日（日） ③9 月 21 日（日） ④11 月 24 日（月・祝） 令和 8 年 ⑤2 月 21 日（土） ～22 日（日） （1 泊 2 日）	アウトドアクラブ （全 5 回）	年 5 回の連続講座で、初回は火おこしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができることを目指した。また、回ごとに新しいメニューを取り入れ、新企画につなげられるようモニターになっていただいた。 《定員 6 組 参加者 5 組》	 

③手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりと、アクトパルならではの手作り体験ができるイベントを実施した。親子で協力する作品作りや、大人だけでも楽しい作品作りなど、目的に応じて参加していただいた。

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
6 月 29 日（日） （午前午後 2 回開催）	陶芸教室～入門編～	陶芸をはじめたい人のために初心者向けの教室を開催し、陶芸に親しんでもらうとともにより上級の作品に取り組むことができるように案内した。 《定員各 6 組 参加者午前 6 組 午後 6 組》	
①7 月 19 日（土） ②7 月 20 日（日） ③7 月 21 日（月・祝）	流しそうめんセットをつくろう！ （3 回開催）	家族で協力し、竹で流しそうめんの台や食器づくりをすることでモノづくりの楽しさを共有し、家族の絆を深める機会とした。応募者多数だったので、①を追加開催日とした。 《定員各 6 組 参加者①6 組②6 組③6 組》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
8 月 3 日（日）	夏休み親子工作デー	夏休みに親子が協力して作品作りに取り組むことにより、親子の協力関係を築くきっかけづくりを行うとともに、工作道具の正しい使い方なども学び、モノづくりの楽しさを体感することを目指した。 《定員 5 組 参加者 3 組》	
11 月 9 日（日）	アクトパルそば道場	野外でのそば打ちを体験することでそば打ちを身近に感じ、ふるさとの食文化や手作りの楽しさを体感する機会とした。 《定員 5 組 参加者 5 組》	 
12 月 7 日（日） （午前午後 2 回開催）	クリスマスリースをつくろう！	施設周辺の植物など自然の素材を生かしたオリジナルのリースづくりを通して、豊かな自然やモノづくりの楽しさ、クリスマスリースの由来を知る機会とした。 《定員各 6 組 参加者午前 7 組 午後 7 組》	
令和 8 年 2 月 14 日（土） ～15 日（日） （1 泊 2 日）	親子で楽しむ木工教室	2 日間かけていろいろな工具を使い、本格的な木工作業に取り組んで道具の使い方や木工の楽しさに触れるとともに、笠取産野菜のお鍋や冬の星空観察など、家族でゆっくり過ごせる場を提供する予定だったが、申し込みがなく中止した。 《定員 5 組 参加者 0 組》	
3 月 8 日（日） （午前午後 2 回開催）	陶芸教室～ろくろ編～	陶芸経験者を対象に、電動ろくろを使った作品づくりに挑戦し、ステップアップを目指した。2 月開催予定だったが、大雪警報が出たため、3 月に延期した。 《定員各 5 組 参加者午前 5 組 午後 4 組》	
①3 月 28 日（土） ②3 月 29 日（日）	アクトパルうどん道場 （2 回開催）	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通じてふるさとの食文化や手作りの良さを学んだ。 《定員各 6 組 参加者①6 組②6 組》	 
4 月 3 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	陶芸クラブ （全 72 回）	炭山の陶芸家を講師に迎え、年間登録しているクラブ員が対象で、毎月 6 回設けた活動日に通年で陶芸に親しんでもらった。《会員 37 人》	

理事会・評議員会開催状況

(1)理事会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和7年5月24日	議案第1号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	令和6年度指定管理者事業報告について
		議案第4号	令和6年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
		議案第5号	令和7年度第1回評議員会の招集について
		報告第1号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
第2回	令和7年6月28日	議案第6号	代表理事の選定について
		議案第7号	業務執行理事の選定について
第3回	令和8年3月6日	報告第2号	令和7年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第3号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		議案第8号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		議案第9号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		議案第10号	役員賠償責任保険の継続加入について
		議案第11号	令和7年度第2回評議員会の招集について

(2)評議員会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和7年6月28日	議案第1号	定款の一部変更について
		報告第1号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	理事・監事の選任について
		議案第4号	評議員の選任について
		報告第2号	令和6年度指定管理者事業報告について
		報告第3号	令和6年度宇治市出資法人自己評価報告について
第2回	令和8年3月21日	報告第4号	令和7年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第5号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		報告第6号	令和8年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		報告第7号	役員賠償責任保険の継続加入について

理事・監事・評議員名簿

(1) 理事・監事名簿

(令和8年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
代表理事	杉本厚夫
業務執行理事	西川治
理事	岩崎弘之
理事	鬼塚慎一
理事	藤原千鶴
監事	國谷和正
監事	井内徹

(2) 評議員名簿

(令和8年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
評議員	久世谷幸治
評議員	橋本佳延
評議員	松林俊幸
評議員	藤田瞳
評議員	安田修治

令和 7 年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

決 算 報 告 書

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,262,824	8,589,452	6,673,372
売掛金	5,960,795	6,466,019	△ 505,224
未収金	0	7,600	△ 7,600
前払金	112,730	66,626	46,104
流動資産合計	21,336,349	15,129,697	6,206,652
2. 固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	122,301	122,301	0
定期預金	20,470,499	20,470,499	0
投資有価証券	29,447,207	29,427,447	19,760
基本財産合計	50,040,007	50,020,247	19,760
(2)特定資産			
退職給付引当資産	47,680,976	49,583,351	△ 1,902,375
特定資産合計	47,680,976	49,583,351	△ 1,902,375
(3)その他固定資産			
構築物	676,801	816,576	△ 139,775
什器備品	2,104,385	1,875,434	228,951
その他固定資産合計	2,781,186	2,692,010	89,176
固定資産合計	100,502,169	102,295,608	△ 1,793,439
資産合計	121,838,518	117,425,305	4,413,213
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,869,989	13,043,612	4,826,377
預り金	738,656	539,757	198,899
流動負債合計	18,608,645	13,583,369	5,025,276
2. 固定負債			
退職給付引当金	47,680,976	49,583,351	△ 1,902,375
固定負債合計	47,680,976	49,583,351	△ 1,902,375
負債合計	66,289,621	63,166,720	3,122,901
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産受取利息	40,007	20,247	19,760
指定正味財産合計	50,040,007	50,020,247	19,760
(うち基本財産への充当額)	(50,040,007)	(50,020,247)	(19,760)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	55,548,897	54,258,585	1,290,312
負債及び正味財産合計	121,838,518	117,425,305	4,413,213

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	545,117	360,065	185,052
事業収益			
指定管理料収益	112,858,805	114,468,409	△ 1,609,604
利用料金収益	34,834,120	34,685,610	148,510
材料費収益	2,649,400	2,686,020	△ 36,620
活動体験事業収益	3,572,890	3,369,250	203,640
その他自主事業収益	1,590,369	1,823,235	△ 232,866
受取補助金等			
受取民間助成金	102,536	0	102,536
雑収益			
雑収益	162,710	43,005	119,705
経常収益計	156,315,947	157,435,594	△ 1,119,647
(2) 経常費用			
事業費			
仕入高	2,871,726	2,944,350	△ 72,624
給料手当	50,648,500	52,389,960	△ 1,741,460
臨時雇賃金	8,402,796	7,131,536	1,271,260
退職給付費用	3,880,366	3,354,556	525,810
福利厚生費	8,589,012	9,304,933	△ 715,921
食糧費	1,760	109,418	△ 107,658
旅費交通費	2,474,587	2,965,225	△ 490,638
通信運搬費	881,370	822,606	58,764
減価償却費	614,824	597,330	17,494
消耗品費	2,438,520	2,176,189	262,331
修繕費	3,458,553	3,326,739	131,814
印刷製本費	769,794	281,353	488,441
燃料費	1,811,964	1,810,866	1,098
光熱水料費	14,567,054	14,739,153	△ 172,099
賃借料	4,767,921	4,759,431	8,490
広告料	0	373,753	△ 373,753
保険料	186,990	121,810	65,180
諸謝金	1,564,600	1,708,281	△ 143,681
手数料	479,342	505,380	△ 26,038
委託費	34,653,676	34,633,612	20,064
雑損失	840	0	840

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
役員報酬	713,700	706,600	7,100
給料手当	1,999,601	2,044,845	△ 45,244
退職給付費用	204,229	176,555	27,674
福利厚生費	256,520	277,902	△ 21,382
会議費	950	18,434	△ 17,484
食糧費	17,670	48,450	△ 30,780
報償費	5,000	5,000	0
旅費交通費	159,903	190,625	△ 30,722
通信運搬費	85,871	101,826	△ 15,955
消耗品費	175,246	128,932	46,314
委託費	66,550	0	66,550
保険料	287,760	241,690	46,070
諸謝金	0	5,000	△ 5,000
租税公課	7,928,760	8,021,840	△ 93,080
負担金	73,500	107,120	△ 33,620
手数料	5,940	5,830	110
経常費用計	155,045,395	156,137,130	△ 1,091,735
評価損益等調整前当期経常増減額	1,270,552	1,298,464	△ 27,912
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,270,552	1,298,464	△ 27,912
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,270,552	1,298,464	△ 27,912
一般正味財産期首残高	4,238,338	2,939,874	1,298,464
一般正味財産期末残高	5,508,890	4,238,338	1,270,552
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	499,760	377,459	122,301
一般正味財産への振替額	480,000	357,699	122,301
当期指定正味財産増減額	19,760	19,760	0
指定正味財産期首残高	50,020,247	50,000,487	19,760
指定正味財産期末残高	50,040,007	50,020,247	19,760
Ⅲ 正味財産期末残高	55,548,897	54,258,585	1,290,312

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	545,117	0	0	0	545,117
事業収益					
指定管理料収益	99,158,057	1,719,548	11,981,200	0	112,858,805
利用料金収益	34,241,940	592,180	0	0	34,834,120
材料費収益	2,649,400	0	0	0	2,649,400
活動体験事業収益	3,572,890	0	0	0	3,572,890
その他自主事業収益	1,590,369	0	0	0	1,590,369
受取補助金等					
受取民間助成金	102,536	0	0	0	102,536
雑収益					
雑収益	162,710	0	0	0	162,710
経常収益計	142,023,019	2,311,728	11,981,200	0	156,315,947
(2) 経常費用					
事業費					
仕入高	2,871,726	0	0	0	2,871,726
給料手当	49,808,188	840,312	0	0	50,648,500
臨時雇賃金	8,259,948	142,848	0	0	8,402,796
退職給付費用	3,815,012	65,354	0	0	3,880,366
福利厚生費	8,438,638	150,374	0	0	8,589,012
食糧費	1,760	0	0	0	1,760
旅費交通費	2,431,288	43,299	0	0	2,474,587
通信運搬費	866,473	14,897	0	0	881,370
減価償却費	614,824	0	0	0	614,824
消耗品費	2,401,025	37,495	0	0	2,438,520
修繕費	3,399,758	58,795	0	0	3,458,553
印刷製本費	756,818	12,976	0	0	769,794
燃料費	1,781,161	30,803	0	0	1,811,964
光熱水料費	14,319,414	247,640	0	0	14,567,054
賃借料	4,686,866	81,055	0	0	4,767,921
保険料	186,990	0	0	0	186,990
諸謝金	1,564,600	0	0	0	1,564,600
手数料	471,698	7,644	0	0	479,342
委託費	34,075,454	578,222	0	0	34,653,676
雑損失	826	14	0	0	840

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
管理費					
役員報酬	0	0	713,700	0	713,700
給料手当	0	0	1,999,601	0	1,999,601
退職給付費用	0	0	204,229	0	204,229
福利厚生費	0	0	256,520	0	256,520
会議費	0	0	950	0	950
食糧費	0	0	17,670	0	17,670
報償費	0	0	5,000	0	5,000
旅費交通費	0	0	159,903	0	159,903
通信運搬費	0	0	85,871	0	85,871
消耗品費	0	0	175,246	0	175,246
委託費	0	0	66,550	0	66,550
保険料	0	0	287,760	0	287,760
租税公課	0	0	7,928,760	0	7,928,760
負担金	0	0	73,500	0	73,500
手数料	0	0	5,940	0	5,940
経常費用計	140,752,467	2,311,728	11,981,200	0	155,045,395
評価損益等調整前当期経常増減額	1,270,552	0	0	0	1,270,552
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,270,552	0	0	0	1,270,552
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	1,270,552	0	0	0	1,270,552
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,270,552	0	0	0	1,270,552
一般正味財産期首残高	4,238,338	0	0	0	4,238,338
一般正味財産期末残高	5,508,890	0	0	0	5,508,890
II 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息	499,760	0	0	0	499,760
一般正味財産への振替額	480,000	0	0	0	480,000
当期指定正味財産増減額	19,760	0	0	0	19,760
指定正味財産期首残高	50,020,247	0	0	0	50,020,247
指定正味財産期末残高	50,040,007	0	0	0	50,040,007
III 正味財産期末残高	55,548,897	0	0	0	55,548,897

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	122,301	0	0	122,301
定期預金	20,470,499	20,470,499	20,470,499	20,470,499
投資有価証券	29,427,447	19,760	0	29,447,207
小 計	50,020,247	20,490,259	20,470,499	50,040,007
特定資産				
退職給付引当資産	49,583,351	3,191,627	5,094,002	47,680,976
小 計	49,583,351	3,191,627	5,094,002	47,680,976
合 計	99,603,598	23,681,886	25,564,501	97,720,983

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	122,301	(122,301)	(0)	—
定期預金	20,470,499	(20,470,499)	(0)	—
投資有価証券	29,447,207	(29,447,207)	(0)	—
小 計	50,040,007	(50,040,007)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	47,680,976	—	—	(47,680,976)
小 計	47,680,976	(0)	(0)	(47,680,976)
合 計	97,720,983	(50,040,007)	(0)	(47,680,976)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	1,498,316	821,515	676,801
什器備品	4,078,150	1,973,765	2,104,385
合 計	5,576,466	2,795,280	2,781,186

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	29,447,207	19,317,000	△ 10,130,207
合 計	29,447,207	19,317,000	△ 10,130,207

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額(単位:円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(単位:円)	科目	期末残高(単位:円)
						役員の兼務等	事業上の関係				
当該公益法人を支配する法人	宇治市	京都府宇治市	—	—	—	—	宇治市総合野外活動センター管理運営業務の受託契約の締結	業務受託費の受取	112,858,805	—	—

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

業務受託費については、市場価格を勘案し一般的取引条件と同様に決定する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	普通預金	122,301	0	0	122,301
	定期預金	20,470,499	20,470,499	20,470,499	20,470,499
	投資有価証券	29,427,447	19,760	0	29,447,207
	基本財産計	50,020,247	20,490,259	20,470,499	50,040,007
特定資産	退職給付引当資産	49,583,351	3,191,627	5,094,002	47,680,976
	特定資産計	49,583,351	3,191,627	5,094,002	47,680,976

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	49,583,351	3,191,627	5,094,002	0	47,680,976

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	895,868
	普通預金	京都中央信用金庫 宇治支店	運転資金として	14,364,839
	定期預金	大和ネクスト銀行	運転資金として	2,117
	売掛金	宇治市	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する指定管理料収益	4,818,805
		リクルートペイメント	公益目的事業及び収益事業等に関する利用料金収益	960,790
		学校	公益目的事業に関する利用料金収益	181,200
	前払金	エックスサーバー	公益目的事業及び収益事業等に関する通信運搬費	35,640
		コストコ	公益目的事業に関する消耗品費	5,580
		(有)ホケン	公益目的事業に関する保険料	20,000
		小学館	管理業務に関する消耗品費	22,800
		モトロータス	管理業務に関する保険料	6,910
		(社福)京都府社会福祉協議会	管理業務に関する保険料	8,000
		アストロアーツ	管理業務に関する保険料	13,800
流動資産合計				21,336,349
(固定資産)				
基本財産				
	普通預金	京都中央信用金庫宇治支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	122,301
	定期預金	京都信用金庫本部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
		京都中央信用金庫宇治支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
		大和ネクスト銀行		470,499
	投資有価証券	利付国庫債券(30年)第81回	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	29,447,207
特定資産				
	退職給付	普通預金	退職金の支払い財源として積み立てている	47,680,976
引当資産				
	引当資産	京都中央信用金庫 宇治支店		
その他固定資産				
	構築物	幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	340,332
		幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	67,492
		広場スロープ	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	268,977
	什器備品	七宝焼講習用電気炉	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		電気窯	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		冷蔵庫	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		電気窯	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,178,148
		ノートパソコン3台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	236,900
		ノートパソコン2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	310,200
		デスクトップパソコン2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	379,134
固定資産合計				100,502,169
資産合計				121,838,518
(流動負債)				
	未払金	役職員	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に従事する職員の給与等	2,164,198
		京都南年金事務所	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する福利厚生費	837,866
		NTT西日本	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する通信運搬費	20,247
		アマゾンジャパン	公益目的事業及び収益事業等に関する仕入高及び消耗品費	63,499
		正美堂	公益目的事業、収益事業等に関する消耗品費	61,007
		株式会社コジマ	公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費及び什器備品購入費	738,749
		近建ビル管理	公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費、修繕費及び委託費	1,382,403
		モクラボ	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	669,900
		キャンパルジャパン	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	523,820
		南山城複写センター	公益目的事業及び収益事業等に関する印刷製本費	475,750
		吉田商事	公益目的事業及び収益事業等に関する燃料費	151,635
		関西電力	公益目的事業及び収益事業等に関する光熱水料費	1,125,347
		小山商会	公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料及び手数料	306,738
		ダスキン山城	公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料	1,584
		ボランティア	公益目的事業に関する諸謝金	76,000
		笠取ファーム	公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	1,905,511
		東洋テック	公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	23,980
		堂坂ジェットクリーナー工業	公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	1,437,700
		株式会社R.project	公益目的事業及び収益事業等に関する手数料	826
		日本郵便	管理業務に関する通信運搬費	27,250
		KDDI	管理業務に関する通信運搬費	6,201
		朝日ネット	管理業務に関する通信運搬費	8,228
		読売センター	管理業務に関する消耗品費	6,300
		三井田商事	管理業務に関する消耗品費	42,950
		宇治税務署	管理業務に関する租税公課	5,812,300
	預り金	役職員	本人負担分社会保険料及び源泉所得税	738,656
流動負債合計				18,608,645

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	47,680,976
固定負債合計				47,680,976
負債合計				66,289,621
正味財産				55,548,897

監 査 報 告 書

令和 8 年 5 月 1 6 日

公益財団法人宇治市野外活動センター
代表理事 杉本 厚夫 殿

公益財団法人宇治市野外活動センター

監事 國谷和正

監事 井内 徹

私たちは、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの令和 7 年度における会計及び業務の監査を行った。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録の適正性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録が公益財団法人宇治市野外活動センターの財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告は法令又は定款に従い公益財団法人宇治市野外活動センターの状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。